

令和 6 年度 スポーツフェスタ・ふくおか 福岡県民スポーツ大会について

1. 大会実施要項について

① 開催期日

夏季大会（水泳）	令和 6 年 8 月 1 8 日（日）
秋季大会	令和 6 年 9 月 2 1 日（土）～2 2 日（日）
冬季大会（駅伝）	令和 6 年 1 1 月 1 7 日（日）
公開競技	各競技団体の定める期日

- ② 開催地・会場一覧 1 ページ
- ③ 令和 6 年度における変更点 2～3 ページ
- ④ 全国青年大会 4 ページ
- ⑤ 福岡県民スポーツ大会参加上の注意事項 5 ページ
- ⑥ 参加資格及び参加制限 6～10 ページ
- ⑦ 各競技実施要項・参加申込書（*福岡県スポーツ協会のHPでご確認ください）
- ⑧ 参加希望調査表（別紙）

2. 秋季大会日程について

- 令和 6 年度 県民スポーツ大会参加希望調査表提出
【提出期限 7 月 1 6 日（火）／大木町スポーツ協会へ提出】
- 秋季大会各競技参加申込書提出
【提出期限 7 月 1 6 日（火）／大木町スポーツ協会へ提出】
*参加申込書は、福岡県スポーツ協会のホームページからダウンロードして
記載をお願いします。
《検索》 福岡県スポーツ協会→県民スポーツ大会→申込書（秋季大会）
- 秋季大会監督者会議及び結団式
【期日 9 月 1 3 日（金）午後 7 時 大木町総合体育館】

3. その他

- 出場助成金：筑豊地区 1 人当り 4, 0 0 0 円

区分	期 日	競 技 名	種 別	主 管	会 場 名
夏季	8月18日(日)	水 泳	全	飯 塚 市	県営筑豊緑地プール
	9月21日(土)	総 合 開 会 式		飯 塚 市	飯塚市総合体育館
	9月22日(日)	陸 上 競 技	一般男子	嘉 麻 市	嘉麻市嘉穂総合運動公園嘉穂陸上競技場
一般女子					
青年男子					
青年女子					
壮年男子					
	9月21日(土) 9月22日(日)	バスケットボール	一般男子	飯 塚 市	飯塚市総合体育館 飯塚市立穂波体育館 飯塚市立筑穂体育館 県立嘉穂東高等学校 飯塚市立飯塚第一中学校 飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校 飯塚市立小中一貫校頼田校
一般女子					
青年男子					
青年女子					
障がいのある方					
		車いすバスケットボール	障がいのある方		
	9月21日(土)	バレーボール	青年男子	田 川 市	田川市総合体育館 県立西田川高等学校
青年女子					
障がいのある方				田川市総合体育館	
	9月22日(日)	バレーボール	壮年女子	芦 屋 町	芦屋町総合体育館 芦屋町立芦屋中学校 芦屋町立芦屋小学校
			一般男子	水 巻 町	芦屋町総合体育館 芦屋町立芦屋中学校 芦屋町立芦屋小学校
		バレーボール	一般女子	田川市・赤村	田川市総合体育館 赤村立赤中学校
	9月22日(日)	ソフトテニス	一般男女	飯 塚 市	飯塚市民テニスコート
		ソフトテニス	壮年男女	直 方 市	直方市西部運動公園テニスコート
	9月21日(土)	卓 球	壮年男女	岡 垣 町	岡垣サンリーアイ ウェーブアリーナ
	9月22日(日)		障がいのある方		
		バドミントン	一般男子	鞍手町・直方市	直方市体育館
			一般女子		
			壮年男子	桂 川 町	県立嘉穂総合高等学校 桂川町総合体育館
			壮年女子		
			壮年混成男女		
		障がいのある方	小 竹 町	小竹町立小竹中学校	
		柔 道	一 般	宮 若 市	宮若市柔剣道場
		青 年			
		柔 道	障がいのある方		
		剣 道	一般男子	中 間 市	中間市体育文化センター
			一般女子		
			青年男子		
			青年女子		
	9月22日(日)	弓(近的のみ)	一般男子	福 智 町	福智町弓道場
		弓(近的のみ)	一般女子		
		弓(近的のみ)	青年男女		
		相 撲	一般男子	遠 賀 町	高倉神社相撲場(岡垣町)
			青年男子		
			個 人		
		ソフトボール	一般男子	香 春 町 春 田 町 糸 田 町 川 崎 町 大 任 町	香春町総合運動公園 そえだサン・スポーツランド 糸田町民グラウンド 糸田町真光寺グラウンド 川崎町民運動公園陸上競技場 赤村コミュニティ広場 赤村野球場
			障がいのある方		
		グランドソフトボール	障がいのある方	調 整 中	調整中
		空 手 道	男子団体	田 川 市	田川市立弓削田小学校
			一般男子		
			一般女子		
			壮年男子		
		空手道	壮年女子		
	9月21日(土)	テ ニ ス	一般男女	飯 塚 市	県営筑豊緑地テニスコート
	10月20日(日)	車いすテニス			いいづかスポーツ・リゾートテニスコート
	調整中	ブラインドサッカー		NPO法人北九州スポーツクラブACE	調整中
	9月22日(日)	車いすラグビー		Fukuoka DANDELION	糸田アリーナ体育室
	9月22日(日)	ポ ッ チ ャ	障がいのある方	福岡ポッチャ協会	田川市総合体育館小体育館
	9月22日(日)	ライフル射撃		県ライフル射撃協会	糸田アリーナ多目的ホール
	12月1日(日)	ゴ ール ボール		ゴールボール福岡	クローバープラザ
	9月21日(土)	サッカー(知的)		県知的障がい者サッカー連盟	県営筑豊緑地球技場
冬季	11月17日(日)	駅 伝	全	筑後市・みやま市	県営筑後広域公園

(3) 「福岡県民スポーツ大会」実施要項の昨年度からの変更点について

1 空手道競技 壮年の部の追加 (大会実施要項 1.1 参加資格の追加)

現 行	<p>【郡市対抗競技】 一般男子団体、一般女子形、一般女子組手、壮年女子組手</p> <p>【公開競技】 一般男子組手、壮年男子組手、一般男子形</p>
変 更	<p>【郡市対抗競技】 一般男子団体、一般女子形、<u>壮年女子形</u>、一般女子組手、壮年女子組手</p> <p>【公開競技】 一般男子形、<u>壮年男子形</u>、一般男子組手、壮年男子組手</p>
理 由	<p>空手道競技の他大会では、年齢ごとに種別を設定しており、参加者は自分に近い年代の選手と競っている。現行の県民スポーツ大会では、「一般の部」で一括りとなっているため、参加者の年齢層が広く、競技力に差が生じていた。</p> <p>今回の変更案では、現行で設けられていない「壮年女子形」「壮年男子形」の部を新設することで、年代の近い参加者同士が競い合うことで、より多くの選手が参加しやすい大会を目指すため。</p>

2 バドミントン競技 「ふるさと選手」の参加 (大会実施要項 1.1 参加資格の追加)

現 行	<p>申込時点で、当該市町村に住民登録をしている者 (外国人登録含む)。 ただし、柔道競技、相撲競技、空手道競技に限り、在勤地が当該市町村にある者も以下の条件で認める。</p> <p>①令和6年5月1日以前から勤務している者に限る。 ②居住地より在勤地の人口が少ないことを条件として認める。(なお、人口が25,000人未満の町村(令和6年4月1日現在)は条件を適用せず、認める。)</p> <p>ただし、区で選手を選抜する種別(柔道:一般・青年、空手:一般男)においては、条件を適用せず、認める。</p>
変 更	<p>上記に追加</p> <p><u>また、バドミントン競技(一般男女)については、県内他郡市在住であっても、出身中学校所在地の郡市からの出場を認める(各出場者の1/2以内)。ただし、複数の郡市から参加依頼がある場合は、本人の意向を尊重し、当事者間で十分協議の上決定すること。</u></p>
理 由	<p>バドミントン競技は、過去5年間の参加者が大きく減少(一般男子:24郡市→17郡市、一般女子:19郡市→11郡市)している競技である。</p> <p>今回の変更案で、いわゆる「ふるさと選手」の出場枠を設けることで、参加者の拡大を図り、より多くの県民が福岡県民スポーツ大会に出場することを目指すため。</p>

3 青年の部について (大会実施要項 11 参加資格)

現 行	青年の部は、下記<青年の部の参加制限>のとおり制限を設ける。また、弓道競技、相撲競技及び陸上競技を除き全国青年大会の予選とする。
変 更	青年の部は、下記<青年の部の参加制限>のとおり制限を設ける。また、 <u>バスケットボール競技及び剣道競技は、</u> 全国青年大会の予選とする。
理 由	令和6年度の全国青年大会から、バレーボール競技の実施が廃止となり、全国青年大会の予選競技は、バスケットボール競技及び剣道競技の2競技のみとなったため。

4 得点競技の総合成績決定方法について

(大会実施要項 12 得点競技 (郡市対抗で行う競技) の総合成績決定方法)

(1) 競技得点 <秋季大会>弓道 (青年) (一般男女)

現 行	【弓道競技】区分：1位～8位までの順位が決まるもの。																
変 更	<p>【弓道競技】区分：トーナメントで順位が決まるもの。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1位</td> <td>2位</td> <td>3位</td> <td>3位</td> </tr> <tr> <td>40点</td> <td>35点</td> <td>27.5点</td> <td>27.5点</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>5位</td> <td>5位</td> <td>5位</td> </tr> <tr> <td>12.5点</td> <td>12.5点</td> <td>12.5点</td> <td>12.5点</td> </tr> </table>	1位	2位	3位	3位	40点	35点	27.5点	27.5点	5位	5位	5位	5位	12.5点	12.5点	12.5点	12.5点
1位	2位	3位	3位														
40点	35点	27.5点	27.5点														
5位	5位	5位	5位														
12.5点	12.5点	12.5点	12.5点														
理 由	競技団体からの要望により、競技方法は、予選を行ったのち、決勝トーナメントで勝敗を決することとしたため。																

(7) 第72回全国青年大会について

1 趣 旨

この大会は、地域を舞台にスポーツや芸術文化活動といった様々な活動に取り組んでいる青年たちが都道府県の代表として全国各地から集まり、日頃の地域活動の成果を仲間たちとともに発表し、また、その技術を競い合うことによって、青年同士の友好親善を深めるとともに、スポーツや文化活動が豊かに取り組まれる健康で文化的な生活を自らの手で創り出し、さらには、青年がその中心となりながら、子どもたちやお年寄りといった多様な世代が手を取り合って暮らせるような、真に豊かな地域社会の創造を目指し開催する。

2 主 催

日本青年団協議会、一般財団法人日本青年館、東京都（予定）

3 共 催

公益財団法人全日本剣道連盟（剣道のみ）

4 後 援（予定）

内閣府、文部科学省、厚生労働省、各道府県または道府県教育委員会、NHK、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本バレーボール協会、公益財団法人日本バスケットボール協会、公益財団法人日本バドミントン協会、公益財団法人全日本軟式野球連盟、公益財団法人日本卓球協会、公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人全日本ボウリング協会、公益財団法人日本サッカー協会、特定非営利活動法人日本アマチュア演劇連盟、一般社団法人全日本合唱連盟、公益財団法人日本将棋連盟、日本体育大学、公益財団法人日本レクリエーション協会、江戸川区、特定非営利活動法人テレビ日本美術家協会

5 運営上の留意事項

地域青年の総意を結集して、本大会を成功に導くため、町村大会、郡市区大会、都道府県大会と順次盛り上がるよう工夫して、これを本大会に反映させる。

郡市区ならびに町村大会においては、都道府県大会の予選を兼ね、青年の総意を結集する。都道府県大会においては、本大会の予選を兼ねて、それぞれの地域の特色ある行事を加える。

6 実施に関する事項

競技運営に関することは、各部門別要項及び種目別実施要項に定めるところによる。ただし剣道は各部門別要項の限りではない

7 参加者数申込について

約2,000名を予定。

8 実施競技

- (1) バスケットボール（男子・女子）
- (2) 軟式野球
- (3) 剣道（男子・女子）
- (4) フットサル

9 福岡県派遣対象競技

- ・バスケットボール（男子・女子）
- ・剣道（男子・女子）

10 年齢制限

バスケットボール

- ・1984（昭和59）年4月2日から2009（平成21）年4月1日までに出生した者

剣 道

- ・1989（平成元）年4月2日から2006（平成18）年4月1日までに出生した者

(8) 福岡県民スポーツ大会参加上の注意事項

① 郡市受付について

参加にあたっては、種目(種別)ごとに実施される郡市受付の時間・場所等を事前に確認し、当日確実に受付を済ませること。

なお、欠場の場合や受付遅刻の場合は、事前に開催地実行委員会へ届け出ること。

② 大会参加について

大会参加の選手は、「福岡県民スポーツ大会が目指す4つの姿」(P1 参照)を遵守し、参加すること。

③ 大会参加態度について

監督、選手は、郡市及び実施競技を代表するアスリートとしてふさわしい態度で大会に臨むこと。

特に、スポーツを見て楽しむ「見るスポーツ」としての質をより向上させていくためには、競技や試合の結果だけでなく、競技者のプレー、パフォーマンス、フェアプレーといった内容そのものを楽しみ、評価していくようになることが望まれる。

なお、スポーツをする側も同様に、単に勝敗を競うだけでなく、大会の主旨を理解し、自らの練習の成果を出し合い、スポーツをとおしての交流の場であると捉えていくことが大切である。

④ 怪我・緊急対応等について

大会参加者等に係る保険については、県民スポーツ大会実行委員会で一括して保険に加入している(入院等)。

大会に係る事故、怪我、急病等は、団体代表者、所属体育・スポーツ協会、大会本部(開催地実行委員会、スポーツフェスタ・ふくおか実行委員会事務局)へすぐに連絡すること。

スポーツフェスタ・ふくおか実行委員会事務局 緊急連絡先一覧	
福岡県人づくり・県民生活部スポーツ局スポーツ振興課	TEL：番号は後日提示
(公財) 福岡県スポーツ協会	TEL：番号は後日提示
(一社) 福岡県障がい者スポーツ協会	TEL：番号は後日提示

9 開催期日

夏	季	大	会	令和6年8月18日(日)
秋	季	大	会	令和6年9月21日(土)・22日(日)
冬	季	大	会	令和6年11月17日(日)
			駅伝	調整中
公	開	競	技	各競技団体の定めるところによる。

10 運営組織

- (1) 秋季大会については、開催地実行委員会が主管し、冬季大会(駅伝)については、スポーツの総合祭典市町村対抗福岡駅伝実行委員会が主管する。
冬季大会(スキー)、夏季大会(水泳〈障がい者の部〉)、秋季大会(ソフトテニス・テニス・バスケットボール〈障がい者(知的)の部〉・車いすバスケットボール・バレーボール〈障がい者(精神)の部〉・卓球〈障がい者の部〉・バドミントン・ソフトボール〈障がい者(知的)の部〉・車いすテニス・ブラインドサッカー・車いすラグビー・ボッチャ・ライフル射撃〈障がい者の部〉・ゴールボール・柔道〈障がい者(視覚)の部〉・サッカー〈障がい者(知的)の部〉・グランドソフトボール)及びその他の公開競技については、実施競技団体が主管する。
- (2) 開催地実行委員会は、原則として、開催市町村に設置する。
- (3) 開催地実行委員会は、主催者、開催地関係者及び実施競技団体関係者で組織する。

11 参加資格〔夏季大会、秋季大会、冬季大会(駅伝)〕

参加者は、次の各号に定める資格条件を有する者とし、郡にあつては郡体育・スポーツ協会会長、市(町村)にあつては市(町村)体育・スポーツ協会会長若しくは教育委員会教育長又は首長が代表として認めた者であること。

ただし、各競技(種別)監督、コーチ、マネージャーについては、(2)～(6)を除く。

- (1) 福岡県民でアマチュア競技者であること。
- (2) 申込み時点で当該市町村に住居登録をしている者(外国人登録を含む)。
ただし、柔道競技、相撲競技、空手道競技に限り、在勤地が当該市町村にある者も以下の条件で認める。
 - ① 令和6年5月1日以前から勤務している者に限る。
 - ② 居住地より在勤地の人口が少ないことを条件として認める。(なお、人口が25,000人未満の町村(令和6年4月1日現在)は条件を適用せず、認める。)ただし、区で選手を選抜する種別(柔道：一般・青年、空手道：一般男)においては、条件を適用せず、認める。
 また、バドミントン競技(一般男女)については、県内他都市在住であっても、出身中学校所在地の郡市からの出場を各種別出場者の1/2以内で認める。ただし、複数の郡市から参加依頼がある場合は、本人の意向を尊重し、当事者間で十分協議の上、決定すること。
- (3) 夏季大会及び秋季大会「青年の部」の一部、空手道競技、冬季大会を除き学生・生徒の参加は認めない。
ただし、水泳競技に関しては、学連に登録していない学生の参加は認める。
- (4) 青年の部は、下記〈青年の部の参加制限〉のとおり制限を設ける。また、バスケットボール競技及び剣道競技は、全国青年大会の予選とする。
- (5) 一般、壮年の部は、下記〈「青年の部」以外の参加制限〉のとおり制限を設ける。
- (6) 公開競技の部は、下記〈公開競技の部の参加制限〉のとおり制限を設ける。
- (7) 上記(1)～(6)に関わらず、夏季大会〔水泳〈障がい者の部〉〕、冬季大会〔駅伝〕及び秋季大会(車いすバスケットボール・バレーボール〈障がい者(精神)の部〉・卓球〈障がい者の部〉・バドミントン・ソフトボール〈障がい者(知的)の部〉・バスケットボール〈障がい者(知的)の部〉・車いすテニス・ブラインドサッカー・車いすラグビー・ボッチャ・射撃〈障がい者の部〉・ゴールボール・柔道〈障がい者(視覚)の部〉・サッカー〈障がい者(知的)の部〉・グランドソフトボール)の参加資格については各競技実施要項に定める。

< 青年の部の参加制限 >

- ア ① 昭和59年4月2日以降に出生した者(40歳)で、令和6年5月1日以前から、引き続き当該市町村に住民登録をしている者とする。
 ② 剣道・陸上競技は平成元年4月2日以降に出生した者とする。
 ③ 卓球競技については、オーバーエイジ枠男女各1名、柔道についてはオーバーエイジ枠男女各2名を認める。
- イ 職業競技者及び過去において職業競技者であった者は参加できない(相撲競技については、過去に職業競技者であった者の参加は認める)。
- ウ 学生・生徒の参加基準は次のとおりとする。

大学生・大学院生・短大生・専門学校生・専修学校生

各競技登録選手のうち、次表の範囲内で参加を認める。ただし、各競技の学生連盟に登録している者は参加できない。

陸上競技	参加できない	バスケットボール	2名以内
バレーボール	3名以内	卓球	男女各1名以内
バドミントン	男女各1名以内	柔道	2名以内
剣道	男子2名以内、女子1名以内		
弓道	1名以内	相撲	2名以内

※卓球競技はオーバーエイジ枠男女各1名、柔道競技はオーバーエイジ枠男2名、バレーボール競技はオーバーエイジ枠3名、バスケットボール競技はオーバーエイジ枠2名を認める。

定時制・通信制の高等学校、各種学校の生徒及び通信制大学・夜間大学の学生

参加できる。

全日制高等学校の生徒

参加できない。

エ 大会出場に関する制限

過去において次表の競技別大会に選手として出場(エントリーのみも含む)した者、及び本年度選手として出場が決定若しくは内定している者は、その当該競技に出場できない。

ただし、国民体育・スポーツ大会「少年の部」の出場者の参加は認める。

競技名	参加制限の大会名
陸上競技	国際競技大会 日本選手権大会 国民体育・スポーツ大会 全日本実業団大会 実業団・学生対抗大会
バスケットボール	国際競技大会 全日本総合選手権大会 国民体育・スポーツ大会 全日本実業団選手権大会 全日本実業団競技大会 男子：Bリーグ 女子：WJBLリーグ JBL (JBL2)、NBL (NBDL) 全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップ bjリーグ 3×3. EXE PREMIER
バレーボール	国際競技大会 国民体育・スポーツ大会 Vリーグ(プレミア・チャレンジ) 全国6人制バレーボールリーグ総合優勝大会
卓球	過去5年間において、下記大会に出場したものは出場できない。 国際競技大会 全日本選手権大会 国民体育・スポーツ大会 全日本社会人選手権大会
バドミントン	過去5年間において、下記大会に出場したものは出場できない。 国際競技大会 全日本総合選手権大会 国民体育・スポーツ大会 S/Jリーグ 全日本社会人選手権大会

柔道	国際競技大会 全日本選手権大会 国民体育・スポーツ大会 全国高段者大会 全日本実業団対抗大会（3部を除く） 全国警察大会 全日本実業団個人選手権大会 全国警察選手権大会 講道館杯争奪日本体重別選手権大会 全国教員大会 全日本産業別大会
剣道	国際競技大会 全日本選手権大会 国民体育・スポーツ大会 全国教職員大会 全日本都道府県対抗大会 全国警察官大会
弓道	国民体育・スポーツ大会 全日本弓道選手権大会（天皇盃、皇后盃）
相撲	国民体育・スポーツ大会 全日本相撲選手権大会

< 「青年の部」以外（公開競技除く）の参加制限 >

ア 年齢制限

競技名	種別	内 容	
陸上競技	一般	男女 39歳以下	
	壮年	男女	40～49歳の部
			50～59歳の部
			60～69歳の部
			70～79歳の部
			80歳以上の部
令和6年4月1日現在の満年齢			
バスケットボール	一般	男子 平成元年3月31日以前に出生した者 ただし、平成元年4月1日以降に出生した者が選手数の1/2に達しない範囲で参加できる。	
	女子	年齢制限しない	
バレーボール	一般	男子 平成6年3月31日以前に出生した者 ただし、平成6年4月1日以降に出生した者が選手数の1/2に達しない範囲で参加できる。	
		女子 年齢制限しない	
	壮年	女子 平成元年3月31日以前に出生した者	
剣道	一般	男子 各ポジションに年齢制限あり（申込み締切日時点） 女子 年齢制限しない ただし、大將は40歳以上の者（申込み締切日時点）	
	卓球	男女 年齢制限しない	
バドミントン	一般	男女 年齢制限しない	
	壮年	男女 昭和59年4月1日以前に出生した者	
	壮年混成	男女 55歳以上 令和6年4月1日現在の満年齢	
弓道	一般	男子 平成6年3月31日以前に出生した者 ただし、平成6年4月1日以降に出生した者は1名まで参加できる。 女子 年齢制限しない	
	ソフトテニス	男女 年齢制限しない	
柔道	一般	男子 年齢制限しない	

相撲	一般	男子	年齢制限しない	
ソフトボール	一般	男子	昭和59年3月31日以前に出生した者	
空手道	一般	男女	平成18年3月31日以前に出生した者	
	壮年	男子	35歳以上	令和6年4月1日現在の満年齢
		女子	30歳以上	
テニス	一般		年齢制限しない	
駅伝		全	別途定める	

イ 大会出場に関する制限

令和5年度に選手として次表の大会に出場した者、並びに本年度出場が選手として決定若しくは内定している者は、その当該競技に出場できない。

競技名	参加制限の大会名
水泳	日本選手権大会 国民体育・スポーツ大会
バスケットボール	全日本選手権大会 男子：Bリーグ 女子：WJBLリーグ
バレーボール (一般男子)	国民体育・スポーツ大会 Vリーグ (プレミア・チャレンジ) 全国6人制バレーボール総合優勝大会 全日本実業団選手権大会 全日本総合選手権大会
ソフトテニス	国民体育・スポーツ大会及び全国ランキング10位以内に登録された者
卓球	国民体育・スポーツ大会 全日本卓球選手権大会 全日本卓球選手権 (マスターズ) 大会 (60歳以上は除く)
バドミントン	(壮年の部を除く) 国民体育・スポーツ大会 全日本総合選手権大会 全日本実業団選手権大会 全日本社会人選手権大会
柔道	国民体育・スポーツ大会 全日本選手権大会 全日本体重別選手権大会
剣道	国民体育・スポーツ大会 全日本剣道選手権大会 全日本都道府県対抗剣道大会 全国教職員剣道大会
弓道	国民体育・スポーツ大会 全日本選手権大会 (天皇盃、皇后盃)
相撲	国民体育・スポーツ大会 全日本選手権大会
ソフトボール	国民体育・スポーツ大会 全日本実業団選手権大会 全日本総合選手権大会 全日本クラブ男子選手権大会 全日本壮年選手権大会 全日本教員選手権大会
空手道	国民体育・スポーツ大会 全日本選手権大会
テニス	国民体育・スポーツ大会 全日本選手権大会
駅伝	国民体育・スポーツ大会 (男子：800m、3000m障害、女子：800m、5000m 以外の種目及び少年の部を除く) 都道府県対抗男・女駅伝 (中高生を除く) 全日本実業団男・女駅伝 全日本大学男・女駅伝

ウ その他の制限

- (ア) 相撲競技で、過去において職業競技者であった者がアマチュアに復帰した場合は参加できる。
※アマチュア復帰とは、県相撲連盟に申請して許可された者をいう。
- (イ) 空手道競技 (一般の部) については、学生・生徒の参加を認める。ただし、学生・生徒の参加基準は「11 参加資格<青年の部の参加制限>」のウに準ずる。参加人数は制限しない。

< 公開競技の部の参加制限 >

ソフトテニス (壮年の部)	昭和54年3月31日以前に出生した者 ただし、チーム編成にあたって別途年齢枠あり。		
相撲 (個人戦)	年齢制限はしない 一般、青年の部に出場した者も個人戦に出場できる。 ※下記に該当するものは出場できない。 国民体育・スポーツ大会、全日本選手権大会		
空手道	組手形	一般男子	平成18年3月31日以前に出生した者
		壮年男子	35歳以上 令和6年4月1日現在の満年齢
	組手形	一般男子	年齢制限しない
		壮年男子	35歳以上 令和6年4月1日現在の満年齢
水泳(B~E)	「少年の部」の参加人数は別表のとおりとする。		

12 得点競技(郡市対抗で行う競技)の総合成績決定方法

総合成績決定方法は、次のとおりとする。

下記(1)、(2)の得点を合計したものを郡市ごとの総合成績及び男子総合成績、女子総合成績とする。

(1) 競技得点

競技得点は、原則として、各種別の第1位~第8位までの郡市に与え、得点配分は次表のとおりとする。

< 夏季大会 >

水泳競技	1位 40点 2位 35点 3位 30点 4位 25点
	5位 20点 6位 15点 7位 10点 8位 5点
	※ 少年の部リレー(男女)及び一般の部リレー(男女)、メドレーリレー小学生の部(男女)・中学生の部(男女)・一般の部(男女)の成績の合計により、順位を決定する。なお、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該郡市で等分する。

< 秋季大会 >

区分	得点	該当競技																
1位~8位までの順位が決まるもの	1位 40点 2位 35点 3位 30点 4位 25点 5位 20点 6位 15点 7位 10点 8位 5点 なお、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該郡市で等分する。	陸上競技 (青年男女)(一般男女)(壮年男女) 相撲 (青年男子)(一般男子)																
トーナメントで順位が決まるもの	<table border="1"> <tr><td>1位</td><td>2位</td><td>3位</td><td>3位</td></tr> <tr><td>40点</td><td>35点</td><td>27.5点</td><td>27.5点</td></tr> <tr><td>5位</td><td>5位</td><td>5位</td><td>5位</td></tr> <tr><td>12.5点</td><td>12.5点</td><td>12.5点</td><td>12.5点</td></tr> </table>	1位	2位	3位	3位	40点	35点	27.5点	27.5点	5位	5位	5位	5位	12.5点	12.5点	12.5点	12.5点	バスケットボール (青年男女)(一般男女) ソフトテニス (一般) 卓球 (青年)(一般)(壮年) バドミントン (青年) 柔道 (青年男子)(一般男子) 剣道 (青年男女)(一般男女) 弓道 (青年)(一般男女) 空手道 (一般男子団体)
	1位	2位	3位	3位														
40点	35点	27.5点	27.5点															
5位	5位	5位	5位															
12.5点	12.5点	12.5点	12.5点															
パート別に順位を決めるもの	5パートの場合	ソフトボール (一般男子)																
	各パートの1位	それぞれ25点	バレーボール (一般男子)(一般女子)(青年男女)(壮年女子)															
	各パートの2位	それぞれ11点																
	4パートの場合	各パートの1位	それぞれ32.5点	バドミントン (一般男子)(一般女子)(壮年男子)(壮年女子)(壮年混成男女)														
	各パートの2位	それぞれ12.5点																
	2パートの場合	各パートの1位	それぞれ37.5点															
各パートの2位		それぞれ27.5点																
各パートの3位		それぞれ12.5点																
各パートの3位		それぞれ12.5点																

個人の成績によるもの	1位8点 2位7点 3位5.5点 3位5.5点 5位2.5点 5位2.5点 5位2.5点 5位2.5点	空 手 道 (一般女子形) (壮年女子形) (一般女子組手) (壮年女子組手)
------------	--	--

- (2) 参加得点
参加得点は10点とし、参加した郡市に与える。
ただし、申し込みをしながら参加しなかった場合は与えない。
- (3) 各競技の成績は、当該競技団体が決定する。ただし、天候のその他の事情により競技が中止になった場合は、主管団体と大会本部が協議する。

13 表 彰

- (1) 第67回大会(夏季及び秋季)をとおして実施した全得点競技の総合成績第1位の郡市に総合優勝杯を、男子総合成績第1位の郡市及び女子総合成績第1位の郡市にそれぞれ男子総合、女子総合優勝杯を授与する。
- (2) 総合成績第1位～第8位までの郡市にそれぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各競技の各種別の第1位の郡市にそれぞれ優勝盾を授与する。
- (4) 各競技の各種別、各種目の第1位～第3位に表彰状を授与する。
- (5) 第67回大会の総合得点が第66回大会の総合得点に比べ、伸びた郡市(第1位～第6位まで)に躍進賞を授与する。
- (6) 公開競技については、競技毎に定める。

14 開会式(開始式)・閉会式

- (1) 各開催競技で行う。
- (2) 式典要項は別に定める。

15 競 技

- (1) 競技開始時刻は競技毎に定める。
- (2) 雨天時の日程は別に定める。

16 参加申込み及び参加料 ← 大木町スポーツ協会で行います。

- (1) 別途定める様式によりそれぞれの期日までに(公財)福岡県スポーツ協会あてに申し込むこと。

■ 申 込 先

公益財団法人福岡県スポーツ協会 県民スポーツ大会担当
〒812-0852 福岡県福岡市博多区東平尾公園2丁目1番4号
福岡県立スポーツ科学情報センター内
TEL. 092-629-3535 FAX. 092-629-3536

■ 申込締切

夏 季 大 会	令和6年7月5日(金)
秋 季 大 会	令和6年7月30日(火)
冬季大会(駅伝)	令和6年10月4日(金)

- (2) 参加料
17歳以下は200円、18歳以上は500円(高校生は200円)とする。
※ 悪天候により大会が中止になった場合についても参加料は返還しない。
- (3) 障がい者の部及び公開競技の参加申込み及び参加料については、各競技実施要項による。

17 チーム編成

(1) 各競技の編成は次表のとおりとする。

競技名	種別		選出母体		
			郡市	区〔福岡市〕 北九州市	その他 (団体・個人)
陸上競技	一般	男女	○		
	青年	男女	○		
	壮年	男女	○		
バスケットボール	一般	男子	○	○	
		女子	○		
	青年	男女	○	○	
車いすバスケットボール	障がいのある方	混合			○
バレーボール	一般	男女	○	○	
	青年	男女	○	○	
	壮年	女子	○	○	
	障がいのある方	混合			○
ソフトテニス	一般		○		
	壮年(公開)		○		
卓球	一般・青年		○	○	
	壮年		○	○	
	障がいのある方	男女			○
バドミントン	一般	男女	○	○	
	青年		○	○	
	壮年	男女	○		
	壮年混成男女		○		
柔道	一般・青年		○	○	
	障がいのある方				○
剣道	一般	男女	○	○	
	青年	男女	○	○	
弓道	一般	男女	○	○	
	青年		○	○	
相撲	一般		○		
	青年		○		
	個人(公開)		○		
ソフトボール	一般男子		○	○	
	障がいのある方	混合			○
グラウンドソフトボール	障がいのある方	混合			○
空手道	一般	男子	○	○	
		女子	○		
	壮年	男子	○		
		女子	○		
テニス	一般		○		
車いすテニス	障がいのある方	混合			○
フラインドサッカー	障がいのある方	混合			○
車いすラグビー	障がいのある方	混合			○
ボッチャ	障がいのある方	混合			○
射撃	障がいのある方	混合			○
ゴールボール	障がいのある方	混合			○
サッカー(知的)	障がいのある方	混合			○
駅伝	全		○(市町村)		

18 参加上の注意

- (1) 各郡市の役員構成は次のとおりとする。
団長1名 副団長2名 総監督1名 総務8名程度
- (2) 夏季大会及び秋季大会の参加郡市は、各郡市の旗を、冬季大会（駅伝）には市町村の旗を準備すること。
- (3) 参加者は医師の健康診断を受け、異常がないと認められた者であること。
- (4) 競技中に事故があった場合は、応急処置のみ主催者が行う。
- (5) 大会当日の参加者のスポーツ傷害保険（団体総合補償制度費用保険）については主催者が加入する。
- (6) 青年の部と一般の部を兼ねて出場することはできない。
※ 競技によっては、昭和59年4月1日から平成6年3月31日の間に生まれた者は、両種別に出場資格はあるが、兼ねて出場することはできない。

19 氏名・大会中の写真等個人情報について

大会にあたり、選手の氏名、写真、映像等がテレビ・新聞等で報道されることがある。大会プログラム及び大会報告書の冊子や福岡県スポーツ協会ホームページ等に、氏名、障がい、所属団体名、大会中の写真等を掲載することがあり、これらのことについては、参加申込書が提出されたことをもって同意があったものとする。

20 その他

- (1) 各競技の組み合わせは主催者が行う。
- (2) 申込み後の選手変更は原則として認めない。ただし、秋季大会においてやむを得ない事故等における選手の変更は、大会当日の受付にて別紙選手変更届（別紙様式）を提出することにより、その変更を認める（選手の追加及び他の種別からの変更は認めない）。
※障がい者種別について、選手変更がある場合には、当日、大会本部に申し出ること。
- (3) 本大会において、不正出場を行った場合は、その種目（種別）の試合を失格とする。